



# 美濃加茂高等学校同窓会報

発行 美濃加茂高等学校同窓会 住所 〒505-0027 岐阜県美濃加茂市本郷町7丁目6-60 TEL. 0574-26-7181(代)  
 E-mail : mnkk96@minokamo.ed.jp URL : http://www.minokamo.ed.jp FAX. 0574-25-9048  
 印刷 (株)サラト 住所 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL. 079-284-1380  
 URL : http://www.salat.co.jp FAX. 079-284-0904



校訓  
 自主性  
 創造性  
 社会性



## 平成23年3月末現在、 同窓生総数14,279名(第36回卒業生まで)

### 校歌

一 波を重ねて 若き魚生む  
 木曾の流れよ 飛騨の水よ  
 相寄る学びや 美濃加茂の  
 青春の丘に 友と立ちて  
 麗したくまし わが命

二 伊吹おろしの 寒き朝も  
 雪の御岳 仰くひとみ  
 みずから求めて 道を問う  
 創造の丘に 天は高く  
 望みの満つる日 雲光る

三 梨の花咲く 春よ幾たび  
 夢もおおりて 母校やさし  
 誠のともしび 美濃加茂の  
 結実の丘に われら誓う  
 栄ある未来を 世の幸を

### 着実な成長を願って

学校長 赤崎耕二



同窓生の皆さん、こんにちは。  
 「同窓会報 第1号」はご覧になっていただけましたか。母校の近況が少しはお分かりいただけただけだと思います。第36回卒業生309名を加え、同窓生総数は14,279名となりました。そして、高校部では302名、中学部では52名の新入生を迎え、合わせて1,052名の平成23年度スタートとなりました。

さて前号でもお知らせしましたように、昨年度は、One More Step 「やがなる向上」をスローガンに、進路・部活動・生活の各方面で、これまでの実績を超えるよう生徒・職員が一丸となって取り組みました。結果は、どの分野でも明らかに前進できました。(詳しくは、後のページをご覧ください。)しかし、この結果に慢心することなく、次のステップを目指してしっかりと足元を固めるために、本年度のスローガンは、Slow and Steady 「ゆっくり、着実に」としました。高い建物を建てるには堅固な土台が大切ですから、今のステージを維持しつつ、初心に返って出直します。

ところで、開校以来本校は、建学の精神に則り、「自主性、創造性、社会性」を校訓とし、「知、徳、体バランスのとれた健全な身体と精神をもつ生徒を育成すること」を目標として、教育活動を行っています。

ところが、現代においてもっとも重視すべき「德育」が立ち後れていることを、痛感する昨今です。「知的教育に偏らず、むしろ生徒一人一人を個性豊かな人格者に育てること」を主眼としながらも、本校の教育の実態は生徒の心を豊かにする域にまで達してありません。戦後の教育をすべて否定するものではありませんが、日本人として生きていくうえで大切なものを捨ててきた感が否めません。日本の伝統や文化に根ざした「日本人の心」を、少しでも身につける手立てはないものか、模索していました。

そこで、このたび正眼短期大学と高大連携の協定を結び、教育交流をすることによって、本校に足りない部分についてご支援いただくことにしました。新しい試みが生徒たちの成長と本校のさらなる発展の突破口になればと願っています。

### 豊かな心形成で連携

#### 正眼短大、美濃加茂高が協定

「豊かな心形成」が18日、同短大で「美濃加茂市伊深町の正」と題した出張の形成を目指す。大連携の協定書を締結。講義を高校で実施するほか、高校生は公開講座を無料で聴講できる。

同短大の山川学長は「同窓大の山川学長は「小さな短大だが、日本の心の復興は伊深から」との建学精神がある。若い世代や地域とのつながりを発展させていきたい」。同高校の赤崎校長は「心の教育、德育はこの時代において大変難しい。心の教育を通じて、日本人の心を子どもたちにお伝えしていきたい」と話していた。(安藤基子)



高大連携協定書を取り交わす山川学長(左)と赤崎校長(右)。美濃加茂市伊深町の正眼短大で。

2011年(平成23年)5月19日(木曜日)

### ほっとニュース

- 3月 ドリカムコースから本校初の現役東大合格
- 4月 中学校 陸上部堀江勇輝君 全国3位入賞
- 5月 正眼短大と高大連携締結
- 8月 同窓会報第2号発行
- 9月上旬 同窓会名簿発行
- 9月1日 芸術鑑賞会(ミュージカル「竜馬」美濃加茂市文化会館)
- 10月22日 教育講演会  
(「アテネパラリンピック銅メダリスト 廣道 純氏」プラザちゅうたい)
- 11月26日 プラス・バトン演技演奏会(プラザちゅうたい)

※ 芸術鑑賞会・教育講演会・演技演奏会は、予約不要・入場無料です。是非お越し下さい。

りゅう しん かん

# 隆真館 (平成22年3月31日完成)

創立者故渡邊鎮雄博士は、美濃加茂高等学校の開設に際し、教育方針として「高校を単なる大学進学のための予備校とするような考え方を排し、高校教育はそれ自体独立した教育課程であり、しかもここでの3年間は少年より青年に移る過渡期であって、人間形成にとり極めて重大な時期であることに鑑み、知的教育のみに偏重せず、むしろ生徒ひとりひとりを個性豊かな人格者に育て上げることを目標として、心身両面の健全な発達をはかることを第一の課題とすべきだ。」と考えられ、このため、立派な人格をつくるのに是非とも必要な「自主性」「創造性」「社会性」という三つの資質を体得させることを教育目標としました。

そこで、教育方針の「心身両面の健全な発達をはかること。」をより具現化するために、体育の授業で日本の伝統武術である剣道及び柔道を履修させ、日本の伝統的な礼儀並びに作法を就学させるとともに、健全な心身を育成することを目標とし、柔剣道場が建設されました。



隆真館全景



体育の授業①



高大連携の講義 (正眼短期大学 後藤安弘准教授)



体育の授業②

## 隆真館で日々鍛錬する剣道部

### 顧問



成瀬篤芳



原田拓未

昨年度、柔剣道場の「隆真館」が完成をし、心身ともに充実した環境の中、集中して稽古に取り組むことができています。現在、40名(男子21名、女子19名)で活動しており、文武両道を目指し、全国・東海大会への出場を目標に、自分の進むべき道を、自ら考え工夫し、求めることができる生徒の育成に努めています。この隆真館の完成は私たちを大きく成長させてくれました。それは念願の県大会で3位に入賞できたことです。先輩方には「うらやましい」「私たちのときに…」と言われますが、この結果は先輩方の努力があったからこそその結果であり、突然3位に入賞できたわけではありません。

先輩方が美濃加茂の剣道部だったと胸を張って言えるよう指導していきますので、これからも応援をよろしく願います。

### 過去3年間の戦績

#### <平成20年度>

- ・岐阜県剣道選手権大会
- ・中濃地区総合体育大会
- ・中濃地区剣道大会
- ・関市刃物祭り協賛 岐阜県剣道大会
- ・中濃地区剣道新人大会

- 女子個人ベスト8
- 女子団体優勝
- 女子団体準優勝
- 女子団体3位
- 男子団体準優勝
- 女子団体3位
- 男子個人3位

- ・第55回岐阜県高等学校剣道新人大会

- 男子団体ベスト8
- 女子団体ベスト8
- 男子個人ベスト8 (2名)
- 男子団体ベスト8

- ・第19回全国高等学校選抜剣道大会岐阜県予選会

#### <平成21年度>

- ・第57回岐阜県高等学校体育大会
- ・第56回東海高等学校総合体育大会
- ・岐阜県剣道選手権大会
- ・中濃地区総合体育大会
- ・関市刃物祭り協賛 岐阜県剣道大会
- ・中濃地区剣道新人大会

- 男子個人ベスト8
- 男子個人出場
- 女子個人ベスト8
- 女子団体3位
- 男子団体3位
- 女子団体優勝
- 男子団体準優勝
- 女子団体優勝
- 男子個人優勝
- 女子個人優勝・準優勝・3位

- <平成22年度>
- ・第58回岐阜県高等学校体育大会
- ・中濃地区総合体育大会

- ・玉竜旗高校剣道大会
- ・第38回岐阜県高等学校剣道大会
- ・中濃地区剣道新人大会

- 男子団体ベスト8
- 男子団体準優勝
- 女子団体準優勝
- 男子団体4回戦進出 (5人抜き達成)
- 男子団体ベスト8
- 女子団体ベスト8
- 女子団体優勝
- 男子個人優勝
- 女子個人3位
- 女子団体3位
- 女子団体3位

- ・第56回岐阜県高等学校剣道新人大会
- ・第20回全国高等学校選抜剣道大会岐阜県予選会



# ✪ 恩師からのメッセージ

美濃加茂中学校高等学校創期より勤務された清水裕先生、野口正博先生、小川利昭先生の3方が平成23年3月31日をもって、定年を迎えられました。長らくの間大変お疲れ様でした。今回は、その3方に思い出等を語っていただきました。

なお、3方とも定年を迎えられましたが、まだ学校に勤務されておりますので、是非、諸先生方に会いに学校へお越し下さい。

## 1) 挨拶



英語科 清水 裕

皆さん、お久しぶりです。「少年老いやすく、学成りがたし」と申しますが、多忙を理由にしてけじめのない毎日を通して、今年3月で定年となりました。

「あとの後悔、先に立たず」とはこのことですね。さて、この36年の間には、楽しいこと、うれしいこと、辛いこと、苦しいことが数多くありましたが、今となっては全てが私にはよい思い出となっています。

本校創立当初は、生徒指導・進路指導は元よりあらゆる面でずいぶん辛い思いをしたこともありましたが、時を重ねるにつれ少しずつ学校の評判も高まり、39年目を迎えた現在では、進学実績においても部活動実績においても確固たる成果を挙げている学校となり、卒業生の皆さんと同様に私自身もうれしさと誇らしさで胸がいっぱいになっています。新任の時に強く心に誓い、ずっと持ち続けてきた思いが2つ私にはありました。1つは「公立の学校には負けがない。今にみている」と、もう1つは「退職するまでに東大合格者を出す」というものでした。後者は、当時自分自身の心の中であらゆる根拠もなくただ漠然としていて、霞がかかった遠くに見えるシルエットのようになにに不鮮明な思いではありましたが、しかし、36年間の自分の思いが今年現実のものとなり、まさに感無量です。これも全て、卒業生の皆さんやPTA・後援会の



創立当初の授業風景

に東大合格者を出す」というものでした。後者は、当時自分自身の心の中であらゆる根拠もなくただ漠然としていて、霞がかかった遠くに見えるシルエットのようになにに不鮮明な思いではありましたが、しかし、36年間の自分の思いが今年現実のものとなり、まさに感無量です。これも全て、卒業生の皆さんやPTA・後援会の



創立当初の校舎

担任したクラスが第二回生のアド2組でした。年齢が近かったので生徒たちが弟みたいな感じがした。すべてが三年間持ち上がりではありませんでしたが、その後第五回生アド1組、新しく生まれた第八回生雪雪クラスを3年生時に、第十一回生A3組、第十四回生A2組、第三十三回生A4組を担当しました。目の前の若



英語科 野口正博

## 「今は昔」

方々や教職員がそれぞれの時代の役割を確実に引き継ぎ、熱い思いを心に灯し続けてきた結果だと確信しています。自分がこの美濃加茂高校で皆さんと過ごし、学校の歴史の一端を担えたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。皆さんのご多幸を心よりお祈りいたしております。

創立二年目の昭和四十九年四月から定年となる平成二十三年三月までの三十七年の間、教壇に立たせて頂きました。創立当時は故吉村教頭先生の英語教育に力を入れたいとの思いから英語教員が多く採用されました。当時、名古屋市内の私立高校で非常勤講師をしていた私は大学のゼミの先生から美濃加茂高校での教職を紹介され、二つ返事でお願いました。今渡駅でタクシーに乗り込み、行き先を告げると学校下のぬかるんだ坂道で車が汚れると言っている宿直室で話をしました。今は就職指導室になっている宿直室で吉村先生の面接を受けたことを覚えています。初めて担任したクラスが第二回生のアド2組でした。年齢が近かったので生徒たちが弟みたいな感じがした。すべてが三年間持ち上がりではありませんでしたが、その後第五回生アド1組、新しく生まれた第八回生雪雪クラスを3年生時に、第十一回生A3組、第十四回生A2組、第三十三回生A4組を担当しました。目の前の若



商業科 小川利昭

## 同窓会名簿の発行に寄せて

者たちからはいつも若いエネルギーをもらい、気持ちは若く保つことができたと思います。しかし、気持ちは裏腹に加齢は外見に現れ、生徒との間は兄と弟から父親と子、そしておじいちゃんや孫のようになってしまいました。今では「おじいちゃんとか」「のぐじい」と呼ばれるようになってしまいました。浦島太郎の世界かなあと思っています。

多くのよき先生方、よき生徒たちに巡り会って教員生活を全うできたことを感謝しています。同窓生の皆様のご多幸をお祈りいたします。

私は、美濃加茂高等学校に奉職させていただいて以来、同窓会名簿の10年・20年・30年時の名簿を作成してきました。その都度、名簿のページがどんどん厚くなっていき、本校の歴史の重みを実感してきました。そして、平成24年度の40周年を前にして、今回最新版の同窓会名簿が、本校に勤務されている卒業生の皆さんの手によって発行されることを心よりお喜び申し上げます。

今では、卒業生の数も1万4千人を超す、とても大規模な学校になりました。もちろん開校当時の生徒諸君の頑張り、当時の職員の皆様方の努力の基礎があって、現在の美濃加茂高等学校が存在しております。

本校は確実に進化しました。卒業生の皆さんが社会の重要な仕事を担われ、政界・財界・教育界・スポーツ界など、あらゆる方面で活躍されております。また、在校生諸君に関しても、自分の高校生活に「こんな高校生活を送りたい。こんなことをしたい。」という高い目的意識と行動力を持って頑張る生徒がたいへん多くなりました。その結果として、ご存知のように進学率の向上、部活動においての全国大会への複数の部の出場などがあります。偏差値が高くなったこと、部活動が強くなったという結果もうれしいことですが、大切なことではありませんが、それにも増して目的意識を持って頑張る生徒諸君が多くなくなったことを、私個人として、本当に喜んでおります。

私は、学校の施設・設備が充実したことは、とても喜ばしいことですが、何と云っても卒業生の皆様の存在が、美濃加茂高等学校にとって、とても大切な財

産であると考えております。この名簿が卒業生の皆様のコミュニケーションの場として利用されたり、皆様が母校を懐かしく思い出していただけるものとなれば、とても有意義なものとなると思います。

私も、36年間美濃加茂高等学校に奉職させていただき、無事この時までこられたことを心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後の、卒業生の皆様の健康と、今後の美濃加茂高等学校のより一層の発展を心よりお祈り申し上げます。

## 故西村圭正先生を偲んで



故西村圭正先生の突然のご逝去からはや数ヶ月が過ぎました。訃報を耳にしたときは、教員はもとより生徒、同窓生の皆様方におかれまして、驚きと戸惑いを隠しきれなかったことと思います。

故西村先生は愛知県内の私立高校から平成2年美濃加茂高校に社会科の教員として赴任されました。中学校を立ち上げる前には、設立準備員として多くの私立中学校を視察され、美濃加茂中学校の土台を創られたお一人でした。中学校を設立してからは、中学校に籍を委ねられ、中学校主任、中高一貫部長として中学生だけではなく高校部のドリカムコースの生徒の学習面、生活面、進路面などに厳しい指導をされてきました。しかし、厳しい指導の後には必ず暖かい励ましやきめ細かな指導がなされ、多くの生徒から信頼を得ていました。日本史の指導を受けると成績が伸び、受験校の適切なアドバイスにより多くの生徒を有名大学に合格させ、「西村マジック」といわれていました。

さて、このような故西村先生を失った美濃加茂中学校としましては大きな痛手ではあります。しかし、西村先生の思いを受け継ぎ、生徒の育成に、美濃加茂中学校の発展に職員一同邁進する所存でございます。故西村先生のご冥福をお祈り致します。

教頭 服部吉久

# 加茂中学高等学校進学実績



## 中高一貫教育の魅力

中学校長 長島 正純



平成十三年に中高一貫教育を掲げて、中学校が開校し、昨年十周年を迎えました。「中高一貫六年教育」といっても、ただ単に中学と高校を一緒にしただけのものではなく、開校の準備段階では、何か新しいものを採り入れようと全国の私立先進校を十数校研修視察させていただき青写真を創りました。

その当時、計画を推進しながら一番魅力的だったのが、中高六年間の「継続性」とそこから生まれる「時間的余裕(ゆとり)」でした。学習面における六年間カリキュラム編成は勿論のこと、「十二歳から十八歳という多感な青春時代」を一つの教育的理念のもとで指導出来るという教師にとってやりがいのあるシステムに改めて気づきました。言うなれば、生徒一人ひとりの人生に大きくかかわることができ、現代のように社会が複雑になり、その生き方までこの時期(中学高校)に探求出来ることは、この上なく素晴らしいことだと思います。

公立中学校・高校のように三年間ずつ分断された教育環境では、人生における考え方や一貫して教えることなどとても出来ないのが現状です。また、十二歳にして、多くの地域から来る友人や先生との出会いがあり、自らの生き方まで互いに深め合うことの出来る環境は、正に一生涯の財産を獲得したことになります。そして、もう一つ忘れてならないのが、中一から高三まで同じ校舎で過ごすメリットです。異年齢集団で生活する良さです。中一にして高三生が大学受験勉強をしている様子を目の当たりにしたり、高校生から部活動でアドバイスをもらうなど日頃の生活の中で数え切れないほどの恩恵(収穫)があるのです。最近のように子供の数が減り、同年齢でも友人関係が築けない生徒にとって、四つ五つ上の先輩たちとも接触が出来るというのは、正に中高一貫教育の大きな利点(特色)とも言えるのではないのでしょうか。

ほんの少し前まで、小学生だった少年少女が心身ともに大きく成長し、大人になる大事な土台作りの六年間を厳しくも優しい指導で見守り続ける我々教職員にとって、他の学校にない責任の重みと思い入れが生まれるのは当然のことだと思います。

大きな可能性をもって入学してきた「伸び盛りの生徒たち」を可能な限り伸びやかに大きく成長させたいと願い、熱意を持って指導する教員との間に「濃密で重みのある師弟関係」が生まれるのは極めて自然なことです。そして卒業後、本校を訪ね指導していただいた先生がいてくれることが卒業生にとって大きな励みとなり、やがて「母校発展を期待し応援する姿勢」を生み育ててくれるのです。

我々職員にとって、美濃加茂中学高校を巣立っていった教え子が社会で活躍している姿を見ることが何よりの喜びなのです。

### 過去6年間の主な合格大学(4年制大学)

大学名	H17	H18	H19	H20	H21	H22
国公立大学						
東北大学	1				1	
筑波大学					1	
埼玉大学	1			1	1	
東京大学						1
東京外国語大学		1				
東京学芸大学						1
富山大学	1	1			3	2
金沢大学						1
信州大学		4				
岐阜大学	7	7	5	8	2	15
静岡大学		1	1		2	
愛知教育大学		1		2		
名古屋工業大学	1	1	1	1		
名古屋大学	1	2	3	1	5	3
三重大学					1	3
大阪大学		1				
京都大学						1
和歌山大学	1			1		
広島大学						1
岡山大学				1		
愛媛大学						1
高知大学		1	1		1	
高崎経済大学			2	1		2
首都大学東京			2		1	
岐阜薬科大学				2	1	
愛知県立大学			1	1	2	
名古屋市立大学	1	1	1	2	3	
その他の国公立大学	12	13	11	7	8	6
<b>国公立大学合計</b>	<b>26</b>	<b>34</b>	<b>28</b>	<b>28</b>	<b>32</b>	<b>37</b>
私立大学						
早稲田大学	5	1	3	1	1	3
慶應義塾大学			1		3	3
上智大学			1			
青山学院大学			2	2	1	1
中央大学	2	2	4	1	4	7
法政大学	1	2	6	3	5	4
明治大学	3	1	6	3	6	2
立教大学	1	1			2	2
南山大学	30	9	31	15	27	31
同志社大学	2	1	5	2	6	8
立命館大学	6	17	14	8	8	15
関西大学	4	3	8	2	2	6
関西学院大学		2	6	2	1	7
その他の私立大学	277	403	276	262	255	259
<b>私立大学合計</b>	<b>331</b>	<b>442</b>	<b>363</b>	<b>301</b>	<b>321</b>	<b>348</b>

## 東の横綱 初の現役東大合格!



■ 高木 祐希

中高一貫ドリカムコース卒業  
東京大学理科II類入学  
慶應義塾大学・早稲田大学合格

美濃加茂中学高等学校に入学したからこそ東京大学に合格することができたと思います。特に近年は学校全体としても勉強に力を入れており、東京大学、京都大学、そしてもちろん地元の名古屋大学、岐阜大学等々への勉強がしやすい環境が整ってきています。進学特進授業も本格的に開始され、一人では学べないような高度な知識も、上を目指す良い雰囲気の中で学ぶことができます。また、追試を取ったときや、納得がいかない部分があったとき等に職員室に行けば、先生方は自らの時間を割いて、遅くまで付き合ってくださいました。それに加え、美濃加茂中学高等学校は基本的に進学クラスが少人数であることから、先生方と一人一人の生徒との距離が非常に近く、先生方は、勉強に関してはもちろん、生活や、他の面に関しても幅広く相談ののってくださいます。不安で落ち着かなかった受験前に、自信を取り戻して試験にのぞめたのは、僕が相談に行くたびに先生方が励ましてくださったおかげだと思います。美濃加茂中学高等学校に進学して良かったと思っています。

# One More Step! 美濃



## 国立大学合格にむけて 蛭雪・ドリカムコースの進路指導

進路指導部長 船戸 宙治



平成23年3月10日、午前11時30分。忘れもしない一瞬である。

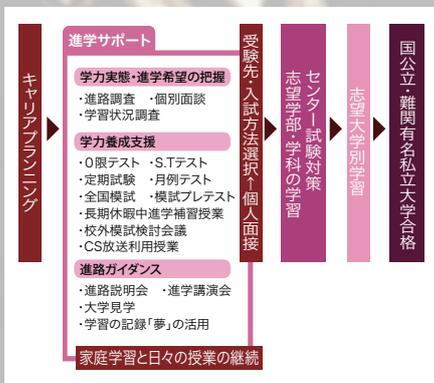
13年ぶりに京都大学（蛭雪コース）から、同時に36回の卒業生の中で初めて東京大学からの合格報告（ドリカムコース）が入った瞬間である。本校の進路指導が実を結んだといってもよい瞬間である。

ここ数年蛭雪コースでは、名古屋大学はもちろんのこと、在籍者の多くが国立大学に合格している。昨年度（平成22年度）は、80%近くの生徒が国立大学に合格し、中でも地元岐阜大学には前期入試で受験者全員が合格するという快挙を成し遂げたのである。

また、ドリカムコースでは、東京大学をはじめ、名古屋大学・岐阜大学・金沢大学への合格を果たした。同時に、英語検定にも力を入れ、2級合格者が9割以上に達したのである（5教科型）。更に、国立のみならず、慶應、早稲田、関関同立、南山といった難関私立大学にも合格者を輩出している。

以上のような実績は、ここ数年の取り組みの成果と考えられる。朝の0限テスト、第7限実施、月例テスト（実力テスト）、進特講座（土曜講座）、CS講座（サテライン講座）等に対する生徒の努力はもろろんのこと、我々教員の指導力アップが実績につながってきたことは言うまでもない。また、学習面のみならず、文化祭への取り組み、夏季学習合宿等、特別活動へも「チーム」一丸となって取り組んできた結果でもある。今後、蛭雪コースとドリカムコースが、受験という「団体戦」に勝てるよう、教員も一丸となって、自らが受験するつもりで指導にあたっていききたいと考えている。

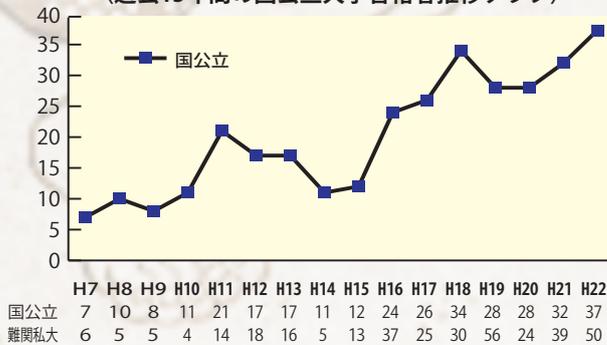
### 最高のステージをめざして難関に挑む



### 〈22年度進路状況 卒業生 309名〉

進学			就職	その他
4年制大学	短期大学 (短期大学部)	専門学校		
55.0%	6.5%	17.8%	15.9%	4.8%

### 〈過去15年間の国立大学合格者推移グラフ〉



## 西の横綱 京大医学部現役合格!

この文章を書く途中、僕は19歳の誕生日を迎えました。美濃加茂高校に入学したのが15歳。早く感じたこの3年間は、やはりそれだけ楽しく充実したものであったでしょう。あの高校に行きたくなかったからここへ来た、と、入学当初の消極的な僕は思っていました。卒業した今になって言えるのは、「美濃加茂高校に来て本当に良かった。あの3年間で、自分はかなり成長したのだな。」ということ。僕にとって一番幸いだったと思えるのは、22人という少人数の蛭雪コースに入ったことです。この人数なら陰に隠れてしまうことが少なく、自分とクラスメイトのコンタクトが多いのです。例えば授業で先生に解答を求められたとき、答えられなかったり間違えたりすると恥をかきません。そして、この人数ならすぐに解答権が回ってくるのでクラスメイトも恥をかかぬように緊張感を持って準備します。逆に誰かひとりが高く評価されれば、それぞれがその真似をしたり、対抗心を燃やしたりして伸びていきます。また、この人数だと、文化祭や体育祭などのイベントでは他クラスより上を目指すために誰一人として手を抜かず連帯するということが自然になり、他ではなかなか味わうことのできない良い雰囲気になります。1・2年生の時の文化祭で大失敗をしたことも、3年生の時に合唱で大成功したことも一生覚えていられるだろうと思います。こうしてクラス全体で同じ緊張感や苦労、失敗、成功を共有し、支え合い高め合う...これが何よりも一番貴重な財産です。

最後に話題が逸れますが、そんな高校生活で僕は主に、楽しむ心、気配り、予測、忍耐、切替え、向上心などを大事にできました。僕が人間として重視していることで、社会に出て役に立ちそうなことで、勉強にも役立つことなのです。このうちの数項目は、担任の先生に口を酸っぱくして言われてきました。高校で学んだことは、必ずその後の人生に活きるはず。必ずその後の人生に活きるはずです。



■ 白木 直人

蛭雪コース卒業  
京都大学医学部入学  
慶應義塾大学・同志社大学合格



# 学高等学校部活動



常連となった男子バスケットボール部を紹介します

## 走思走愛



男子走り幅跳び5回目の試技で観衆の手拍子の中、7尺18を跳ぶ渡辺祥

### 渡辺(加茂)自己新でV

男子走り幅跳び

「いい結果が出た。ここからまた、いい結果を出さないと、来年の大会で負けるかもしれない。来年の大会で負けるかもしれない。来年の大会で負けるかもしれない。」

2011年 平成23年 4月30日 土曜日 10

### 堀江(美濃加茂)飛躍V

果敢に挑戦 自己記録25センチ更新

男子走り幅跳びで自己記録となる4尺55センチをクリアして優勝した堀江(美濃加茂)祥

2011年 平成23年 5月 日 日

### 堀江(美濃加茂)大会新V

男子110障害 後半加速、0秒05更新

勝利の瞬間

目標の選手超え自信

女子駅伝部創部  
めげせ都大路(全国高等学校駅伝競走大会)  
応援団(みのかも都大路の会) 発足

平成22年度 陸上競技部 成績表 (高等学校)

大会名	氏名	種目	順位
平成22年度全国高等学校総合体育大会	堀江 功輝	110mH	
第65回国民体育大会	堀江 功輝	400mH	
	杉山 昇	110mJH	
	堀江 功輝	110mH	
第4回日本ユース陸上競技選手権大会	杉山 昇	110mH	
日本ジュニア室内陸上競技大阪大会	堀江 功輝	400mH	
	堀江 功輝	60mH	
東海大会			
大会名	氏名	種目	順位
第63回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選	木村 優太	ハンマー投	
	堀江 功輝	110mH	2位
	渡辺 祥	走幅跳	
	杉山 昇	110mH	
	藤原 麻菜	走幅跳	
	木村 優太	円盤投	
	堀江 功輝	400mH	7位
	井戸田 峻	走高跳	
	門井 秀佳	円盤投	
	渡辺 祥	三段跳	7位
	加藤 沙織	走高跳	
	木村 優太	ハンマー投	
第53回東海陸上競技選手権大会	堀江 功輝	400mH	
	門井 秀佳	ハンマー投	
	門井 秀佳	円盤投	
	佐藤方里子	ハンマー投	
	加藤 沙織	走高跳	
	渡辺 祥	三段跳	
	堀江 功輝	110mH	
	井戸田 峻	走高跳	
	堀江 功輝	400mH	優勝
	渡辺 祥	走幅跳	5位
第13回東海高等学校新人陸上競技選手権大会	渡辺 祥	走幅跳	4位
	渡辺 祥	三段跳	3位
	杉山 昇	110mH	
	秋松 勇輝	4×100mR	
	夏目 祐太	4×100mR	
	藤原 トシ	4×100mR	
	水野 椋斗	4×100mR	
	波多野泰生	4×100mR	
	吉川 唯人	4×100mR	
	井戸田 峻	走高跳	

平成22年度 陸上競技部 成績表 (中学校)

大会名	氏名	種目	順位
第37回全日本中学校陸上競技選手権大会	堀江 勇輝	棒高跳	
日本ジュニア室内陸上競技大阪大会	堀江 勇輝	棒高跳	3位
東海大会			
大会名	氏名	種目	順位
第31回東海中学校総合体育大会陸上競技大会	堀江 勇輝	棒高跳	
	牧野 友哉	4×100mR	
	三輪 大地	4×100mR	
	神戸正太郎	4×100mR	
	足立 雅弥	4×100mR	
	柏木 光彦	100m	

美濃加茂高校開校以来、根強く活動を続けています陸上競技部です。創部当初はグラウンドも無く、陸上用具もまったく揃ってなかったと聞いております。しかし、現在では本校のメイングラウンドである第一グラウンドを使用し、100M直線8レーン、250Mトラック3レーン、跳躍ピット、投擲ピットも完備され、練習器財も一通り揃っており充実した環境の中で活動しております。現在部員は91名(高校部76名・中学部15名)在籍しており、顧問も8名(外部指導者2名を含む)となり、専門ブロック別に練習を展開しております。特に今年度より女子駅伝部に力を入れ、京都都大路(全国高等学校駅伝競走大会)を走るべく、いつかはテレビ画面に『美濃加茂』の活字が映ることを願い、毎日、切磋琢磨しています。近年では、国体、全国インターハイ共に出場を果たし、県高校新人大会において男子総合準優勝を成し遂げることが出来ました。また、高校では、東海高等学校新人陸上競技大会において男子110Mハードルにて優勝(堀江功輝)・三段跳びにて3位(渡辺祥)の輝かしい成績を収めることができました。

中学では男子棒高跳びにおいて全国3位又、4M55の岐阜県記録を樹立(堀江勇輝)、400M県1位(牧野友哉)、走り高跳び県1位(三輪大地)など今後も大いに期待ができる素晴らしい結果となりました。これもひとえに歴代の諸先輩方が陸上競技部の歴史を築き上げてくれたお蔭だと感謝申し上げます。今後は、現状に満足せず、更なる飛躍を成し遂げる為にも、『走思走愛』の言葉を合言葉に選手・顧問が丸となり頑張りますので、応援よろしくお願いたします。

陸上競技部顧問一同



<顧問> 上段左から 和田恵理子・川口佳恵・松田珠理  
下段左から 長谷和志・堀江俊男・荻野知彦



# 躍進する美濃加茂中

今回は、近年活躍めざましい陸上競技部と、全国大会



## 全国大会常連チームに成長



監督 林 龍 幸

男子バスケットボール部は1973年創部で38年かけ、大きく飛躍してきました。当初、地区大会を勝ちあがるにも苦勞し、岐阜県大会を優勝し、東海大会・全国大会といった大舞台に立つ力はありませんでした。私が美濃加茂高校に就任してから14年目で初優勝し、ここから大舞台に立つ始まりとなりました。今現在、21年目になりますが総合体育大会（インターハイ）2回出場・選抜大会（Winter Cup）2年連続3回出場・国民体育大会選手多数出場・新人大会3年連続優勝5回と大きく飛躍しています。また、U-18選手や中国留学生も在籍し、部活動を通して「心技体」を鍛え、全国大会で優勝できる選手・チームを育成するとともに、大学でも通用する選手の育成もしています。常に全国大会に出場し活躍すること、また平成24年には岐阜清流国体も開催されるので美濃加茂の名を全国に広めて行き、これからも限り無い飛躍をして行きたいと思います。



コーチ 第27回生 河野裕介



### 過去3年間の戦績

#### 平成22年度

岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会  
全国高等学校選抜バスケットボール大会  
岐阜県高等学校新人大会  
東海高等学校新人大会  
国民体育大会

優勝  
ベスト8  
2回戦敗退  
優勝  
2回戦敗退  
優勝  
ベスト8  
多数

#### 平成21年度

岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会  
全国高等学校選抜バスケットボール大会  
岐阜県高等学校新人大会  
東海高等学校新人大会  
国民体育大会

準優勝  
ベスト4  
優勝  
出場  
優勝  
ベスト8  
多数

#### 平成20年度

岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会  
岐阜県高等学校新人大会  
東海高等学校新人大会  
国民体育大会

準優勝  
ベスト8  
準優勝  
優勝  
ベスト4  
多数

## 平成22年度部活動戦績

### —全国大会出場部活動—

#### ●男子バスケットボール部

全国高等学校総合体育大会 2回戦進出  
全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 2回戦進出

#### ●陸上競技部

全国高等学校総合体育大会	堀江功輝	110mH出場
国民体育大会	堀江功輝	400mH出場
〃	杉山 昇	110mJH出場
日本ユース陸上競技選手権大会	堀江功輝	110mH出場
〃	堀江功輝	400mH出場
〃	杉山 昇	110mH出場
日本ジュニア室内陸上	堀江功輝	60mH出場

#### ●剣道部

竜王旗高校剣道大会 男子（5人抜き達成） 4回戦進出

#### ●男子ソフトテニス部

全国高等学校総合体育大会個人戦 平山・山田組 出場

#### ●男子ソフトボール部

全国高等学校総合体育大会 出場  
全国高等学校選抜大会 出場

#### ●ゴルフ部

全国高等学校ゴルフ選手権	団体の部	男子	19位
〃	〃	女子	6位
全国高等学校ゴルフ選手権	個人の部	鬼頭 桜	20位
国民体育大会	男子		17位
〃	女子		3位





# じっくり育て、大きく伸ばす 美濃加茂中学校



## … きめ細かな中高一貫教育 …

### 習熟度別授業

国・数・英は生徒の学力に応じた習熟度別授業を中1から行っています。



### 国際理解教育

英語教育に重きを置き、国際社会に貢献する人材を育成しています。



### 個別学習指導

生徒に応じて、朝や放課後を利用して個別学習指導を行っています。



### 心の教育

人の心の痛みがわかる生徒、人を思いやる優しい心を持つ生徒を育成しています。



## … 頑張る部活動 …

### 軟式野球部

少人数ながら市内の大会で優勝し、県大会出場を果たす力をつけてきました。



### 陸上部

全国・東海・県大会に出場する生徒が育ってきました。堀江功輝君(3年)は棒高跳びで全国3位、県中学記録を更新しました。



### 女子バレー部

地区大会では常に優勝、県大会でもベスト8に。



### その他の部活動

- ・ブラスバンド部
- ・剣道部
- ・ゴルフ部
- ・女子バスケットボール部
- ・硬式テニス部 など

## お知らせ

同窓会事務局では、昨年より会報の印刷発送や同窓会名簿作成・皆様のデータ管理等の業務を(株)サラトに委託しております。個人情報保護の観点から十分に検討し、岐阜県内でも一番の実績のあるサラトにしました。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

平成15年卒  
高橋 陽一 (国語 野球)



美濃加茂中学校の生徒たちは本当に素直で、頑張り屋さんが多く、日々学習や部活動に燃えています。私もそのサポートに燃えています。



卒業生が教壇に立つ

平成16年卒  
和田 恵理子 (英語 陸上)



私と同じ母校で育つ子供達だけに、その成長を見てゆくのとても楽しみにしています。「美濃加茂中学でよかったなあ」子供達が大人になった時にそう感じてもらえるよう、日々精進中です。



## 中学校・高等学校の イベント紹介

### 問い合わせ先

美濃加茂中学高等学校  
TEL 0120-22-3219  
(携帯からは TEL 0574-26-7181)

### 中学校

英語スピーチコンテスト  
9月10日(土)  
対象:小学生4年~5年

オープンスクール  
10月8日(土)  
学校説明会・デモ授業

オープン模試  
10月29日(土)  
対象:小学5年~6年生

I期入試 12月17日(土)  
II期入試 1月7日(土)  
III期入試 2月18日(土)

### 高等学校

第1回オープンスクール  
10月8日(土)

第2回オープンスクール  
11月12日(土)

推薦入試  
一般選奨生入試  
1月14日(土)

一般入試  
1月28日(土)

## 編集後記

昨年に引続きたくさんの方々のご協力で第2号を発行することができました。あらためて同窓生の絆の強さとありがたさを感じた編集作業でした。1ページで新聞記事を紹介した高大連携を記念して、正眼短期大学長 山川宗玄老師の講演会が開催されました。一撃忘所知(いちげきしよちをぼうず)という禅語がとても印象的でした。東日本大震災で被害に遭われた方々のためにも「既存既知にとらわれず、今やるべきことを、やれることから始める」べき時なのかもしれません。がんばろう日本!を合言葉として仲間との絆を大切に感謝の気持ちを忘れず、きっかけや機会を見逃さない敏感で柔軟な自分でありたいと思います。事務局:加納良祐